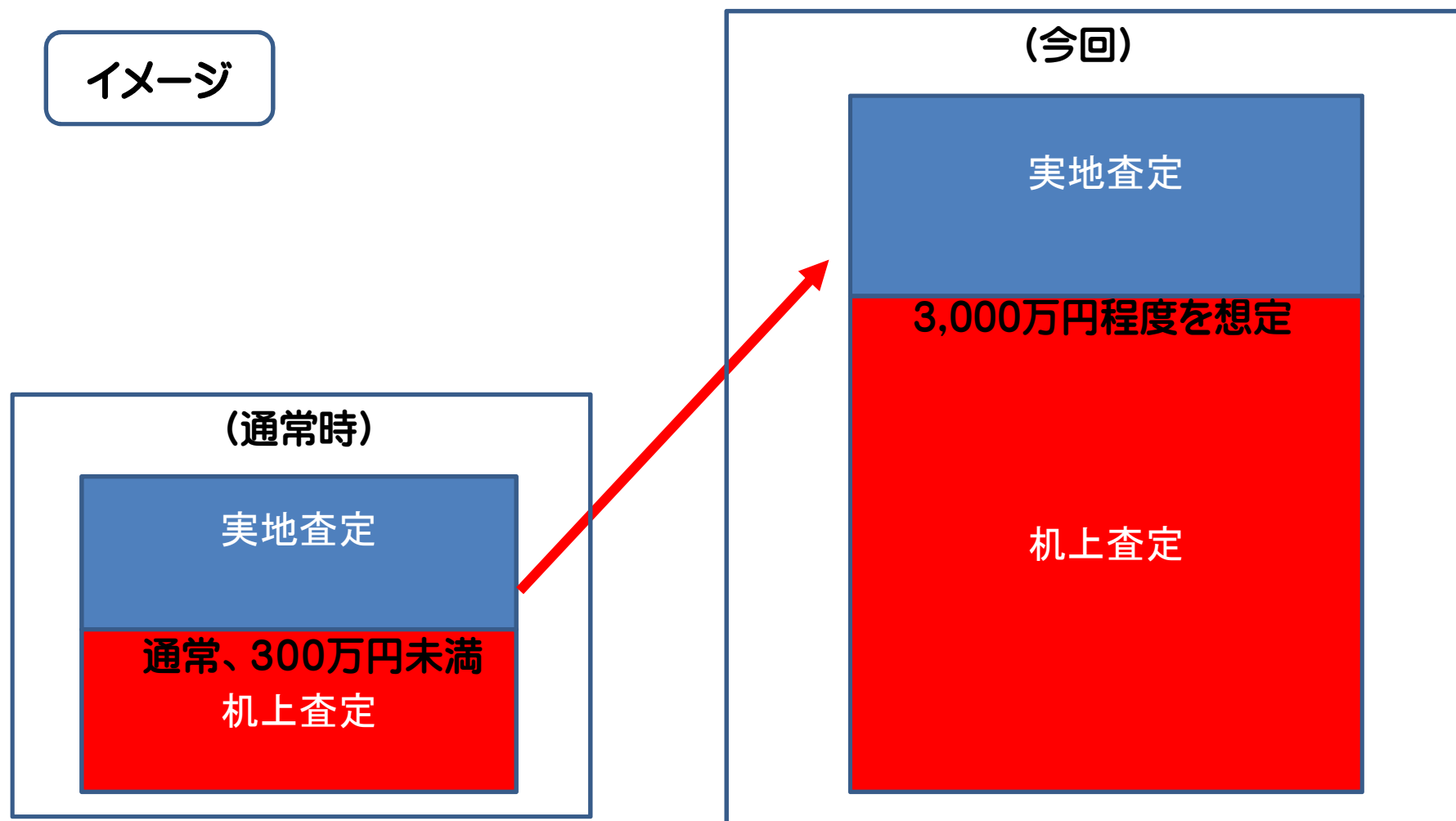


効率化(1) 机上査定上限額の引上げ

別紙1

通常、机上査定は、300万円未満のものに限られているが、この机上査定上限額を引上げることで実地査定件数を減らし、査定に要する時間や人員の縮減を図ることができる。

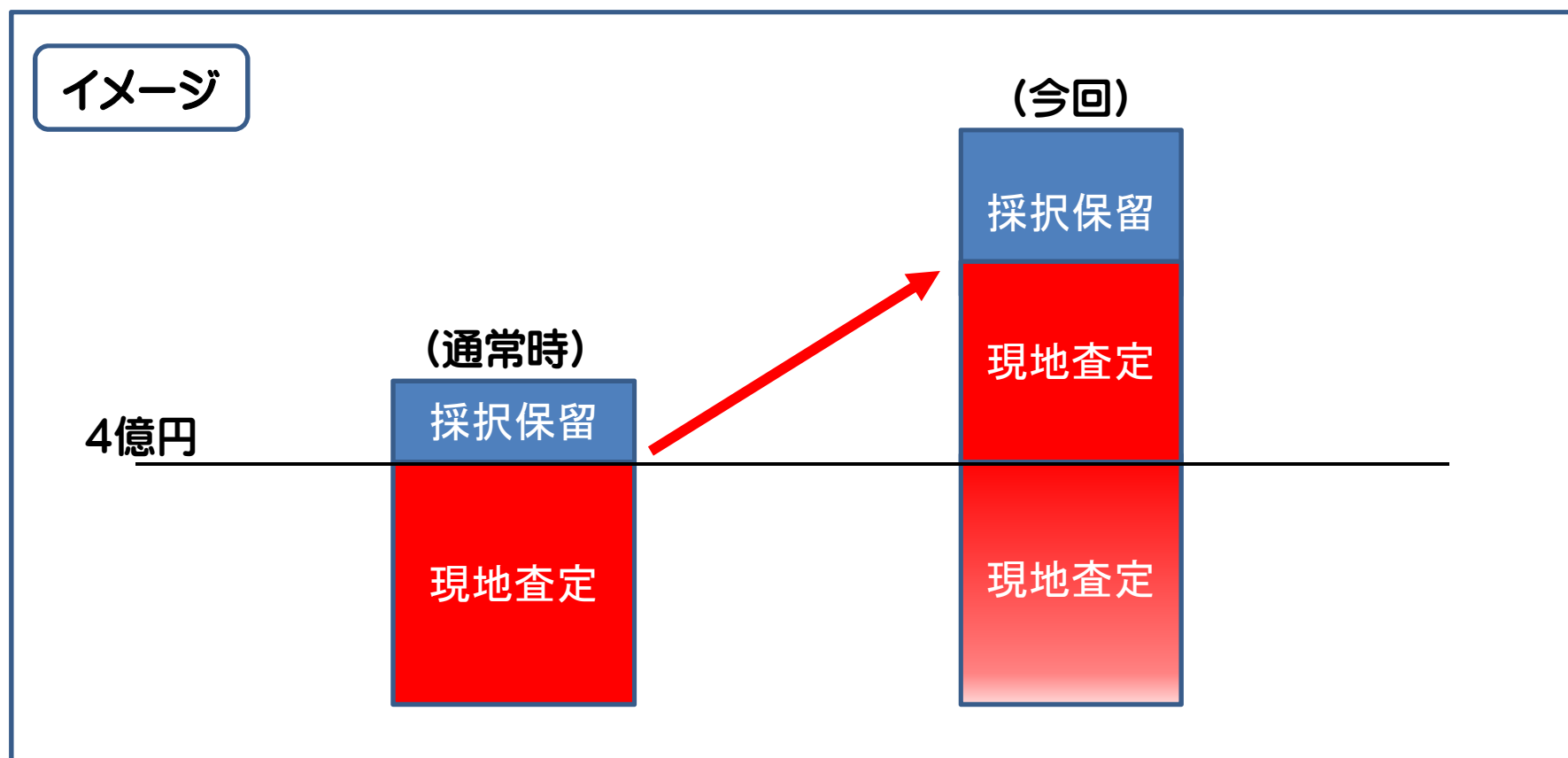
イメージ



効率化(2) 採択保留金額の引上げ

別紙2

通常、金額保留は、4億円以上となる場合に現地査定では採択を保留し、後日決定されるが、この採択保留金額を引上げることで、現地査定での採択が可能となり、規模が大きく、工期を要する工事でも早期着手を図ることができる。



効率化（３） 査定設計図書の簡素化

別紙 3

平面図

S=1:1000



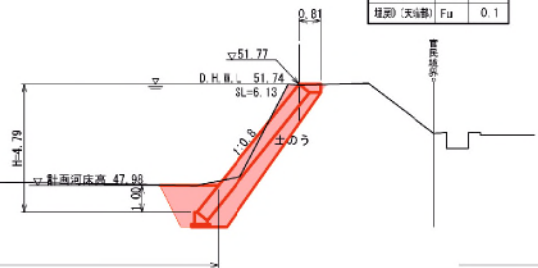
※現地測量（地形測量）に時間を要する場合は、
国土地理院の航空写真やドローンの撮影写真を
平面図として用いることが可能。

横断面図

S=1:100

D=36.000
SECT. 36.0
OH=51.74

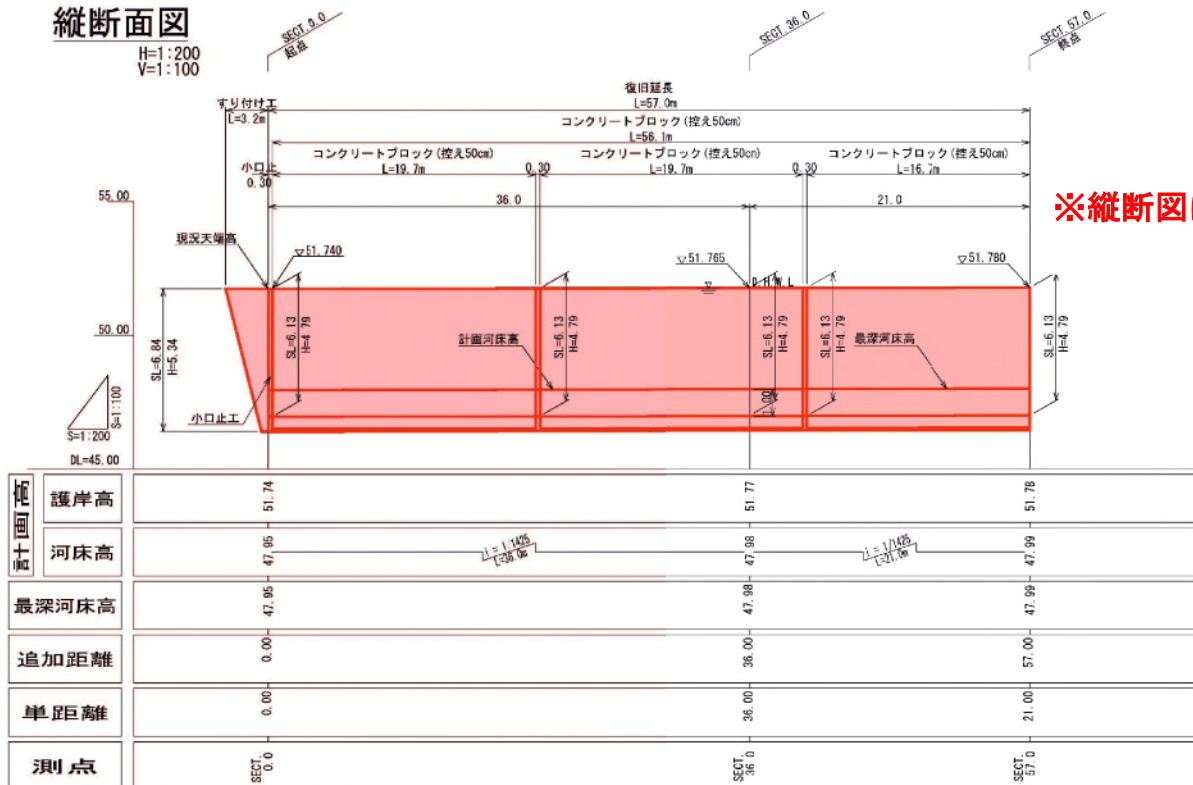
掘削(砂質)	C(S)	4.3
床掘(砂質)	E(S)	4.1
掘削(砂)	Fu	1.9
掘削(砂)	B	-
掘削(砂)	K(S)	0.7
掘削(砂)	CL(S)	6.1
掘削(砂)	BL(S)	-
掘削(砂)	G	3.3
掘削(砂)	Fu	0.1



※復旧延長内の横断に極端な変化がない場合は、
標準横断面図を用いて土工等の数量算出が可能。

縦断面図

H=1:200
V=1:100



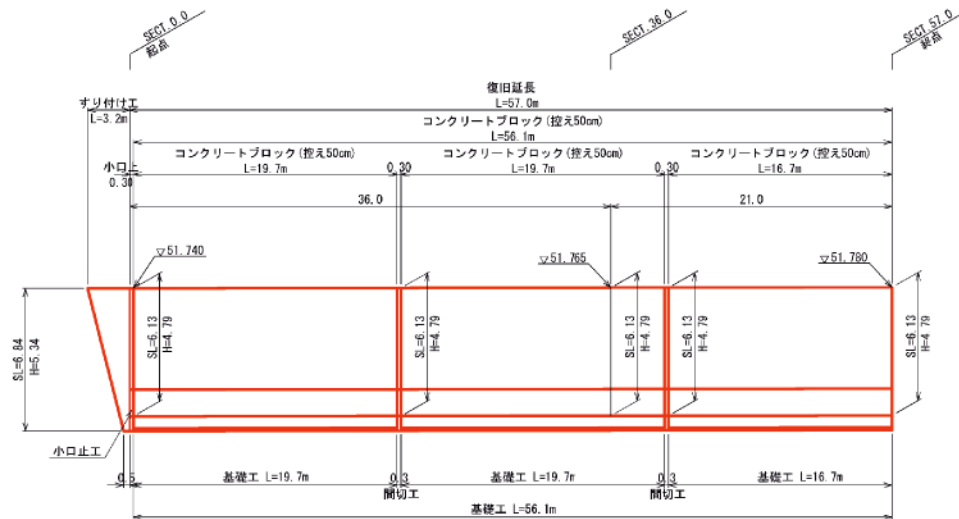
※縦断面図は通常の災害査定時と同様に作成。

※構造物、展開図は通常の災害査定時と同様に作成。

護岸展開図

(右岸側)

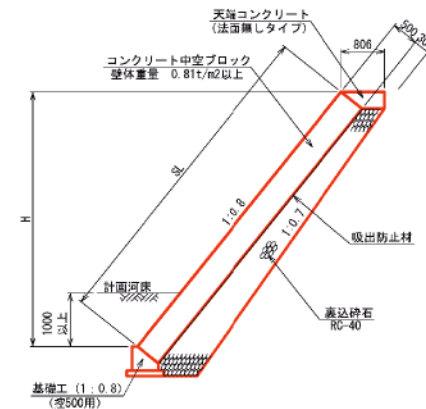
V=1:100
H=1:200



護岸工構造図

(法面無し)

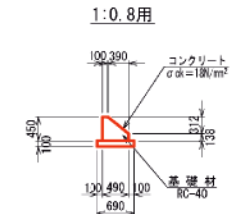
S=1:50



基礎工構造図

(控500用)

S=1:50



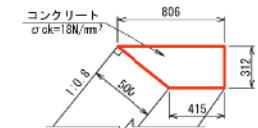
材料表 (基礎工) (10m当り)

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.597	
型枠	鉄	m ²	5.88	
基礎材	RC-40	m ²	6.90	

天端コンクリート

(法面無しタイプ)

S=1:20



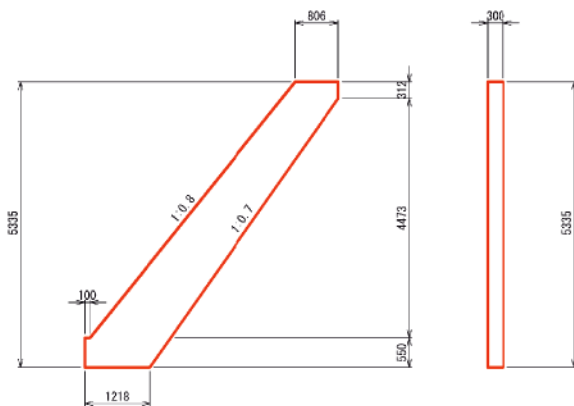
10m当り

種別	数量
コンクリート	1.905 m ³
型枠	3.12 m ²

小口止工

間切工

S=1:50

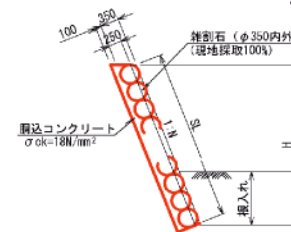


材料表 (1箇所当り)

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	2.037	
型枠	一般型枠	m ²	13.58	
型枠	化粧型枠	m ²	2.00	

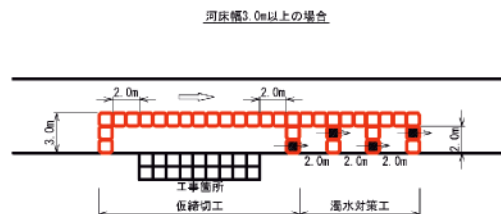
すり付け工 (練石積)

S=1:50



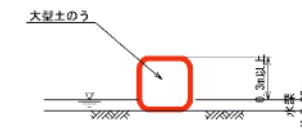
仮締切工平面図

S=1:200



仮締切工断面図

S=1:50



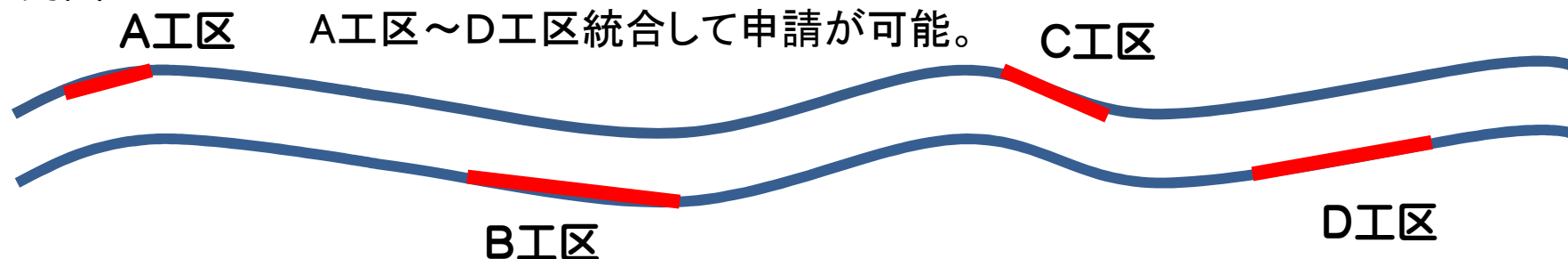
効率化(4) 1箇所工事の取扱い

通常、被災した箇所が100m以内の間隔で連続しているものに係る工事を1箇所の工事とする現行の取扱いに加え、工事の工期や発注単位を勘案して、100mを超える箇所であっても「統合」することや適度な工事発注単位に「分割」することが可能。

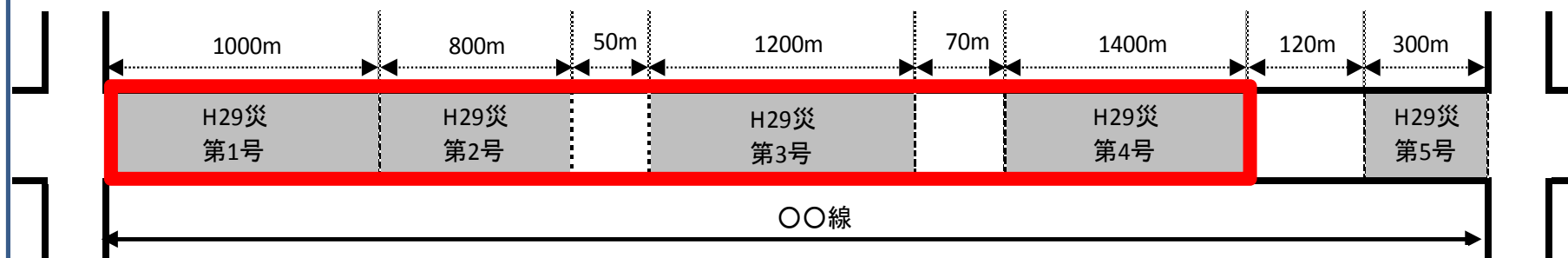
統合または分割のイメージ【河川・道路設の場合】

【河川】 100mを超えた箇所であっても事業執行効率のため、

A工区～D工区統合して申請が可能。



【道路】



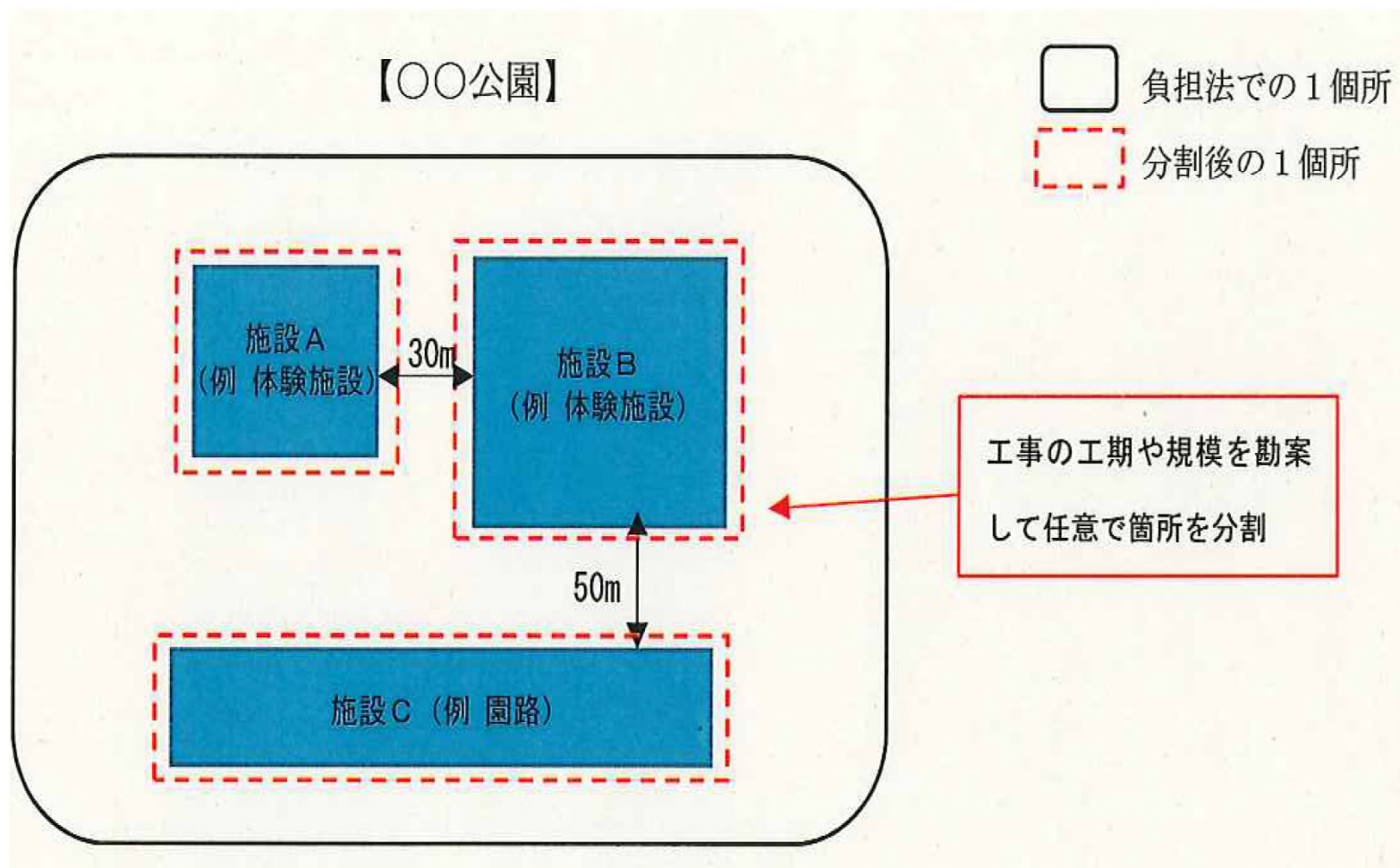
通常、100m以内に連続しているもの(赤枠)を一箇所とみなすが、分割して申請が可能。

○統合または分割のイメージ【公園施設の場合】

別紙5

【被災した複数箇所を分割する場合】

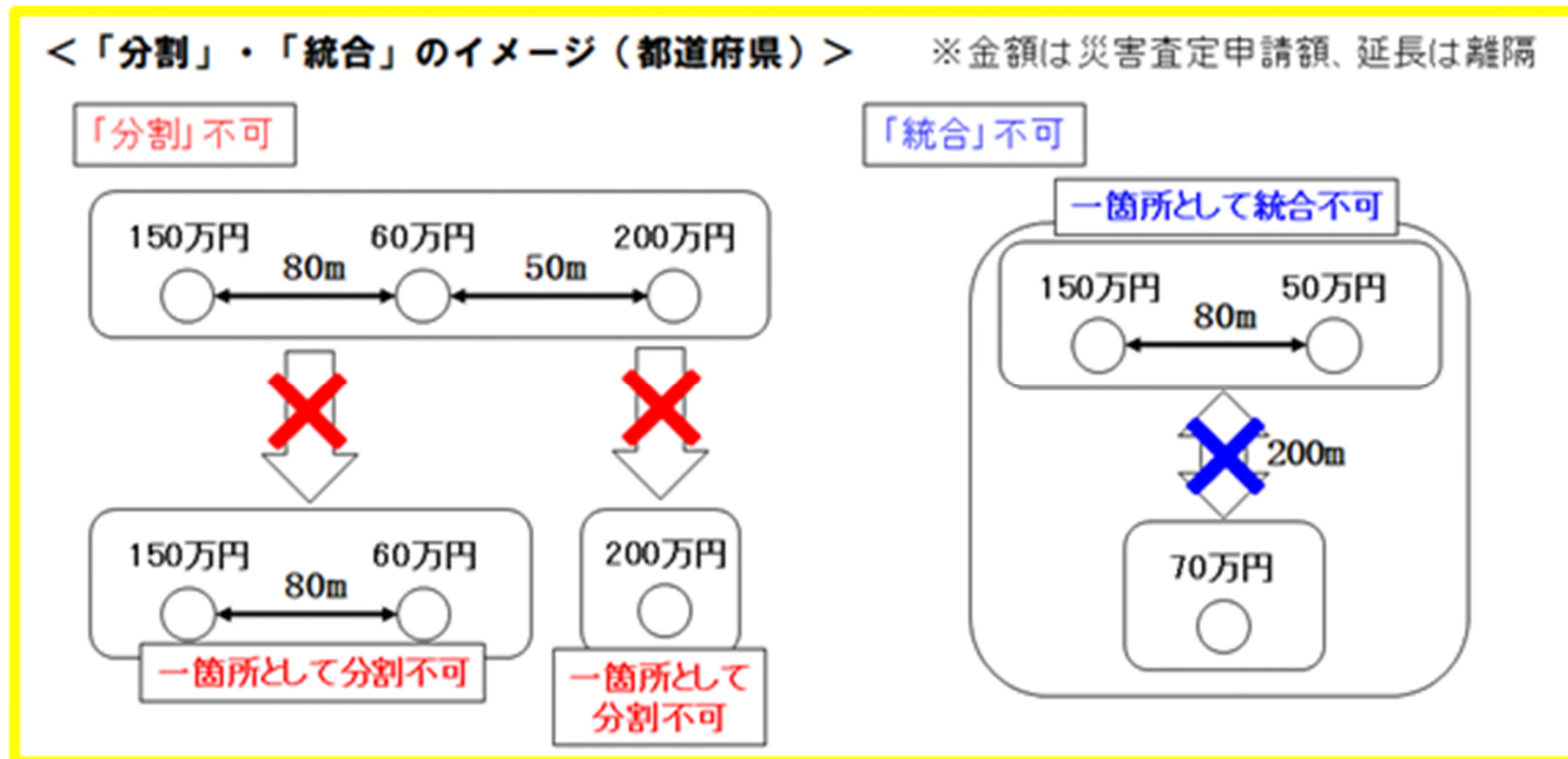
1. 被災箇所の間隔が100m以内に近接している場合においても、災害復旧事業の迅速かつ効率的な実施を図るため、工事の工期や規模を勘案して分割し、分割後の各々の箇所を一箇所とみなすことができる。



1箇所工事の取り扱いの注意点

別紙6

- ・「分割」については、法第六条第二項に規定する限度額未満で1箇所と認められるものの分割は不可。
- ・「統合」については、限度額未満で1箇所と認められないものは100m以上離れているものの統合は不可。



災害査定までのスケジュール(案)

令和元年10月				令和元年11月				令和元年12月			
第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週
	災害発生 10月12日～13日										
		災害調査、測量・設計、積算業務等									
							第1回 申請書提出	➡	第1回 災害査定		
								第2回 申請書提出	➡	第2回 災害査定	
									第3回 申請書提出	➡	第3回 災害査定